

「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」における 坂戸市の主な取組事項



今年度新たに取り組む事項



昨年度から継続して取り組んでいる
事項



昨年度取り組んだ事項

多重防御治水の推進

土地利用・住まいの工夫



浸水が想定される区域の土地利用制限

浸水想定区域などにおける開発許可制度の見直しを予定

減災に向けたさらなる取り組みの推進

重要度に応じた情報伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組



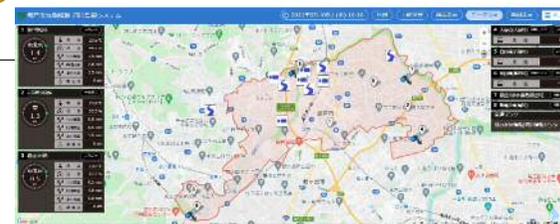
気象観測・河川監視システム（水位計、河川監視カメラ）を導入

水位計・・・高麗川、大谷川、谷治川

監視カメラ・・・高麗川、飯盛川、大谷川、葛川

防災情報の発信ツールの多重化

登録制防災メールやツイッターでの発信に加え、防災アプリを導入





関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組

昨 避難場所の確保

小・中学校の教室や浸水想定区域内にある公共施設の2階以上を一時的な避難場所として確保

継 マイタイムライン作成講習会

出前講座や高齢者大学で講習会を実施



継 戸別受信機の配布

区・自治会長、防災会長、台風第19号で床上浸水を受けた方等へ戸別受信機を配布

昨 ハザードマップの改定

県管理河川の水害リスク情報図を反映。全戸配布及びアプリ、市HPへ掲載



新 地域防災計画の改定

災害対策基本法や水防法の改正、県地域防災計画との整合性を図り、水害の教訓を踏まえ計画の見直し中

資機材の確保

平成30年度に「排水ポンプ車」を2台購入。台風第19号襲来時には、排水作業を実施

昨 「水のう」を50本購入。台風襲来時に飯盛川沿いへ設置

